

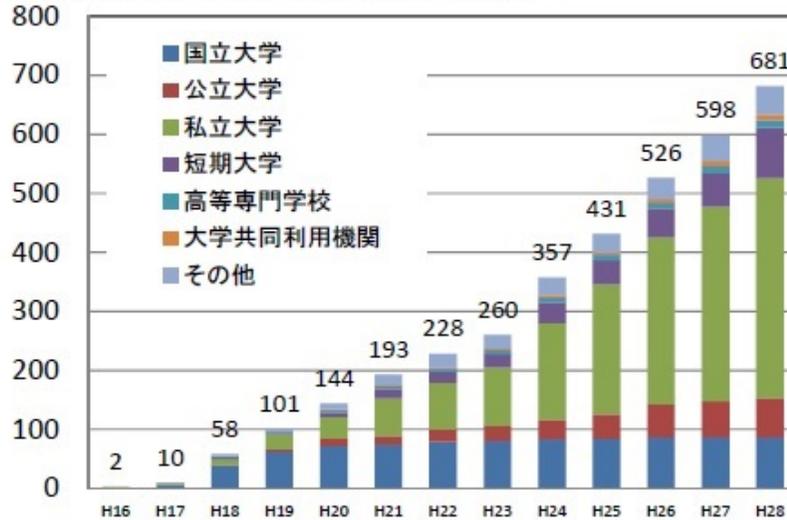
# 機関リポジトリの現状

## 参考資料2

国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会（第1回）  
平成29年12月27日（水）

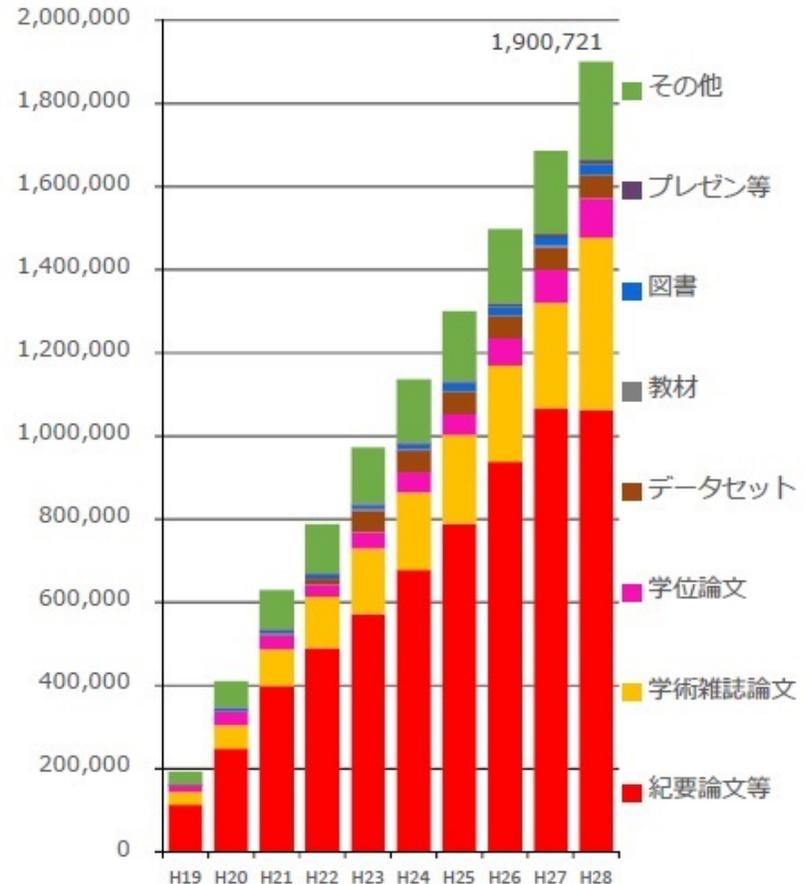
- 日本は、機関リポジトリ数で世界をリードしている。（平成29年3月末現在で世界一位）
- 他方、日本の機関リポジトリの設置元は、ほとんどが大学。世界有数の大学数を誇る日本において、機関リポジトリ数が、世界各国との比較上、多いのは当然との指摘がある。

### ○機関リポジトリ構築機関数の推移

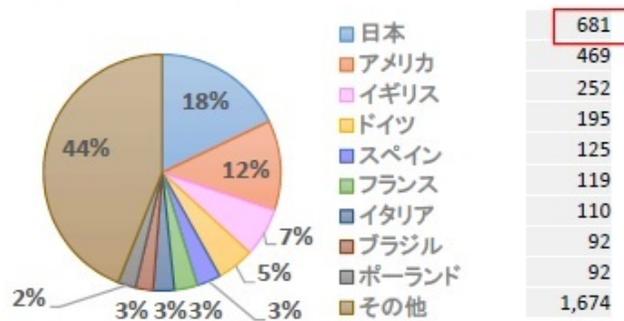


### ○機関リポジトリ登録データ数の推移 (H29.3末現在)

(※ タイトル等の情報だけではなく、論文本文等の情報を有するもの)



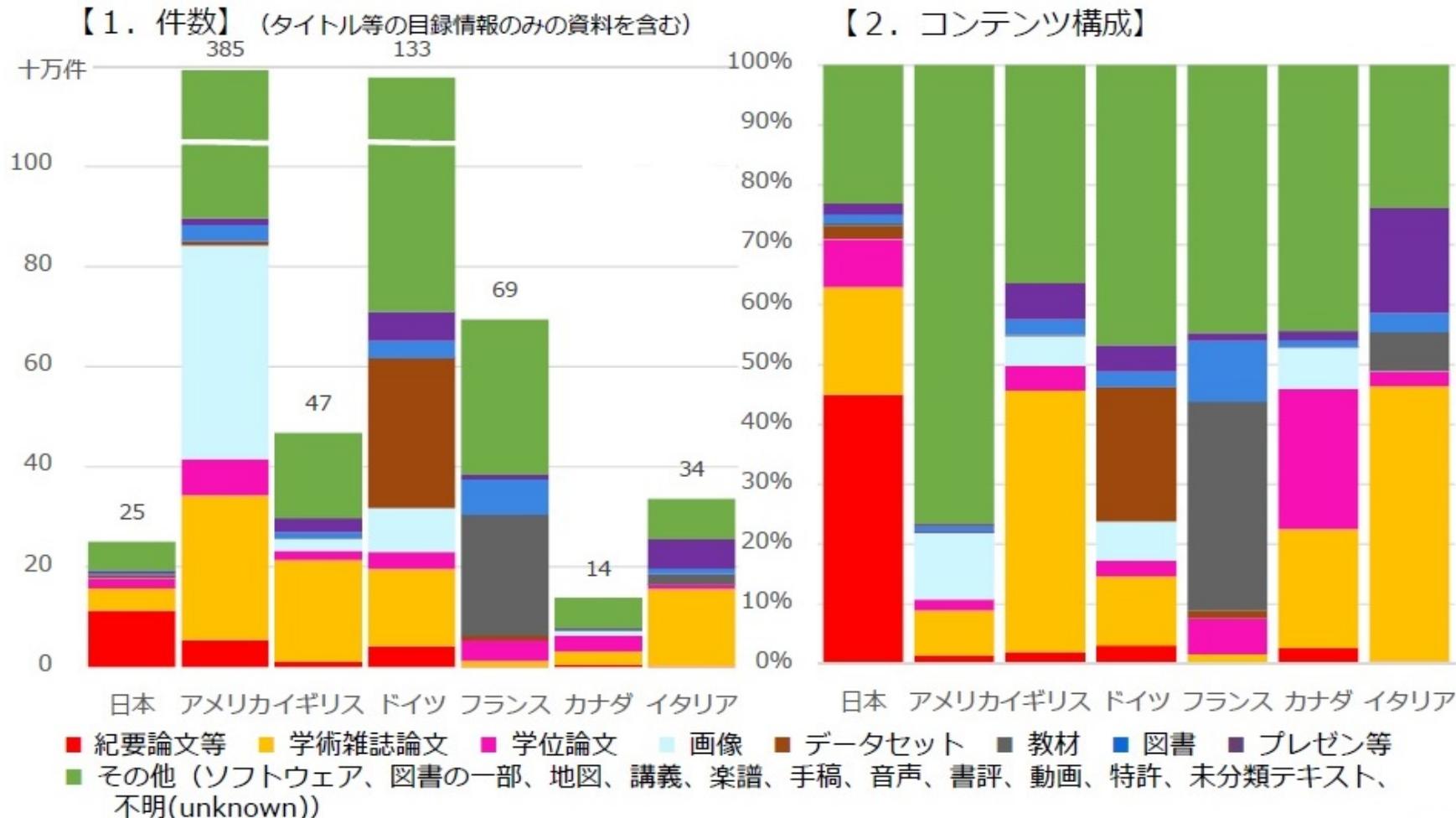
### ○世界で構築されている機関リポジトリの数: 3,809



# 機関リポジトリの現状(各国比較)①

- 機関リポジトリに登録されているコンテンツ数では、アメリカ及びドイツが他を圧倒的にリード。日本は、機関リポジトリの設置数に比して、コンテンツ数は多くない。コンテンツの量と質の充実が課題となっている。
- コンテンツ構成は、各国において特段の共通性は認められない。

## ○主要国機関リポジトリコンテンツの状況



※ BASE (次頁参照) のデータを基に国立情報学研究所において作成

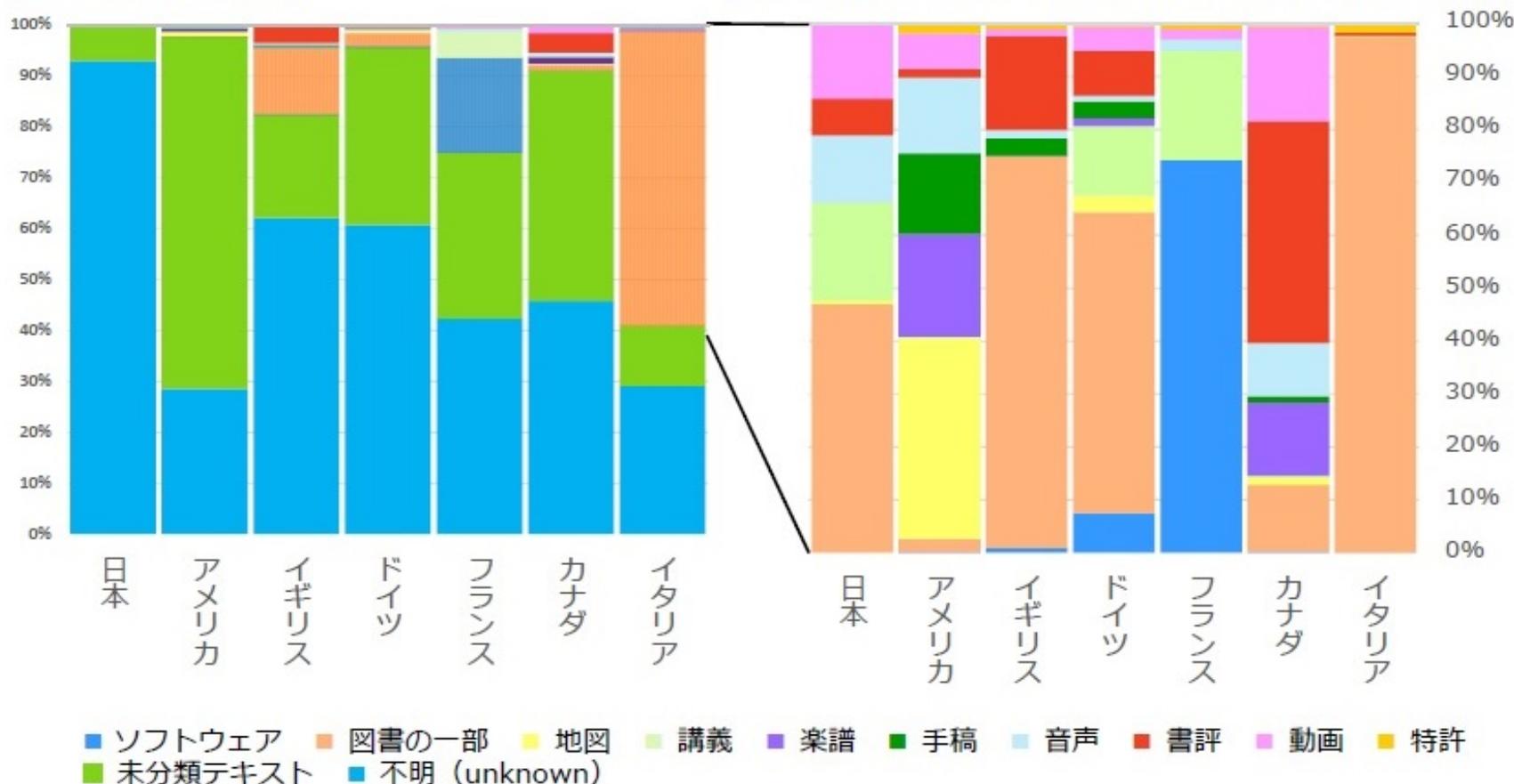
# 機関リポジトリの現状(各国比較)②

- 機関リポジトリのコンテンツ構成におけるその他分類(ソフトウェア、図書の一部(book part)、地図、講義、楽譜、手稿、音声、書評、動画、特許、未分類テキスト、不明(unknown))の状況は、フランスにおいて「ソフトウェア」が、イタリアにおいて「図書の一部」が目立つなど、国ごとの特色が一部に見られる。

## ○主要国機関リポジトリコンテンツの状況

### 【1. その他の構成】

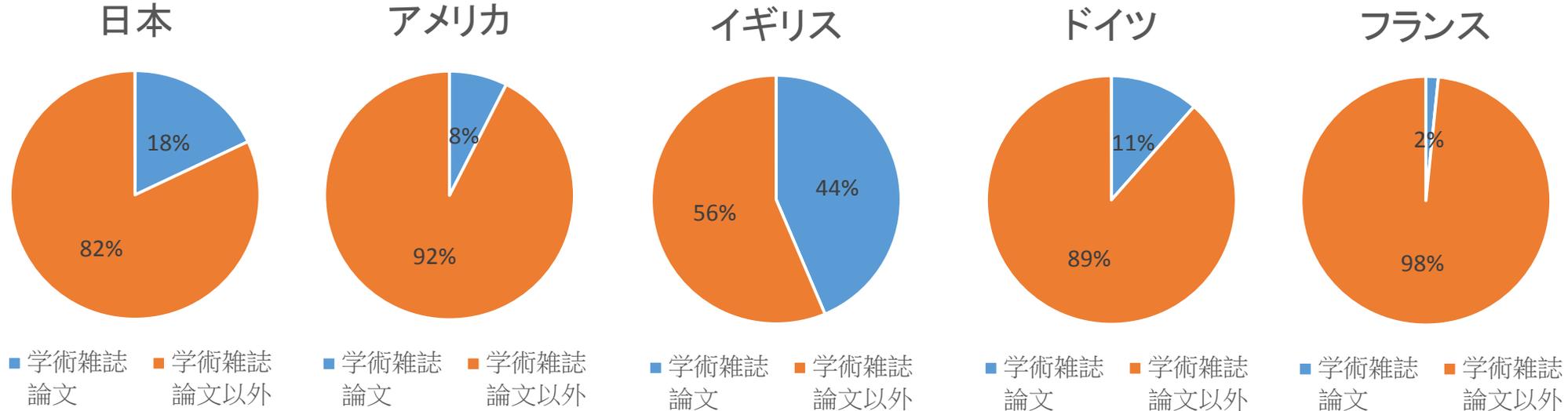
### 【2. 未分類テキスト、不明(unknown)を除く構成】



※ BASE (次頁参照) のデータを基に国立情報学研究所において作成

# 全コンテンツあたりの学術雑誌論文登録率(各国比較)

- ドイツのビーレフェルト(Bielefeld)大学図書館が運用するオープンアクセスの学術ウェブリソース(※)によると、各国が構築したリポジトリにおける学術論文掲載率は、日本が18%、アメリカが8%、イギリスが44%、ドイツが11%、フランスが2%である。
- 機関リポジトリにおける学術雑誌論文の掲載が進まない原因としては、既にジャーナルで公表している論文の再掲載となるため、研究者のインセンティブが必ずしも高くないことや、学協会の著作権ポリシーが定まっていない場合が多いことなどが指摘されている。



※ BASE: Bielefeld Academic Search Engine (<https://www.base-search.net>)